

歳末たすけあい募金の使いみち

地域ふれあい配分事業

三島町社会福祉協議会では、毎年、歳末たすけあい募金の配分事業として、12月から2月までの間「地域ふれあい配分事業」を実施しています。

この事業は、歳末たすけあい募金を地域の中で活用し、特に高齢者や支援を必要とする方々が不安を感じやすい冬の時期に実施する事業です。高齢者や障がい者、子どもたちとの世代を超えた交流会や生活支援活動（除雪支援・友愛訪問・配食等）など、住民が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような「地域のふれあい・支え合い活動」に対して助成するものです。



世代間交流・高齢者生活支援事業に10団体433名が参加

□大谷ボランティアすみれ会	代表 五十嵐 富一さん	世代間交流食事会
■三島町赤十字奉仕団（全域）	代表 五十嵐 藤子さん	クリスマス友愛訪問
□ボランティアいわくら（西方）	代表 青木 喜章さん	ふれあい配食サービス
■川井地区	代表 森田 勝さん	ふれあい食事会
□ボランティア松原	代表 阿部 和彦さん	新そば会
■早戸地区	代表 佐久間 一男さん	世代間交流クリスマス会
□高清水・小山地区	代表 矢澤 倉一さん	クリスマス友愛訪問
■宮下・荒屋敷地区	代表 近藤 勇彦さん	子供と高齢者のつどい
□ボランティアさつき会（大登）	代表 渡部 秀雄さん	配食と豆まき
■三島町民生児童委員協議会（全域）	代表 小松 豊さん	友愛訪問

ボランティアさつき会（大登） 配食と豆まき



【実施報告、参加者の声】
会員が協力して手作り弁当を用意し、楽しく活動できました。高齢者の皆さんから感謝の言葉を聞くと実施して良かったと思いました。一方で、会員も高齢化が進み、今後の実施方法も工夫が必要だと感じました。

歳末たすけあい募金運動実施報告 募金総額 521,824円

令和7年12月1日から12月31日まで行われた「歳末たすけあい募金運動」（実施主体：三島町民生児童委員協議会・福島県共同募金会三島町共同募金委員会・三島町社会福祉協議会）へは町内多くの皆様よりたくさんの温かい募金が寄せられました。心より御礼申し上げます。

三島町では、寄せられた募金を下記の通り活用させていただきました。

▽歳末たすけあい運動配分内訳▽	
○「桐寿苑」への行事等贈呈事業	30,000円
○デイサービス「西輝」行事等贈呈事業	20,000円
○地域ふれあい配分事業	
高齢者生活支援	68,030円
世代間交流	115,592円
○地域福祉サービス事業費	288,202円
(R8年度地域事業)	

ご寄附御礼

東北電力株式会社様のダムカレンダー配布により得られた募金を「社会福祉にお役立てください」とのことで、ご寄附いただきました。



会津ダム管理センター所長鳴海英樹様（中央）、会津若松支社部長須田広樹様（左）より、小松会長に手渡されました。

支えあい通信



各地区のサロンの活動が盛んな
各地区の出して、団体活動が盛んな
アイデアを、会員が盛り
上げています。サロンの
西部地区は、サロンの
活動が盛んな
各地区のサロンの活動が盛んな
アイデアを、会員が盛り
上げています。サロンの
西部地区は、サロンの
活動が盛んな

三島町社会福祉協議会は、平成3年3月に法人として認可を受け、平成13年12月にゆいはとを創刊し、今回記念すべき100号を迎えました。日頃より、ご支援・ご協力いただいているすべての皆様に、改めて感謝申し上げます。今後とも、地域の皆様とともに、ふくしの地域づくりに務めてまいります。
三島町社会福祉協議会 役職員一同

降雪期の一斉訪問活動

今季最強の寒波になるとの天気予報にドキドキしながら、2月8日に地域ふれあい配分事業を兼ねて、ヤクルトを手に一斉訪問活動に出かけました。

当日は、予報が外れて雪も降らず、皆さんから「雪の中ご苦労様」と労いの言葉をいただき、ほっこりした気分です。「春ももう少しだから、からだに気を付けてね」とお伝えしました。降雪期は、雪の始末に追われたり、出控える傾向もあるので、訪問活動で皆さんの元気な顔を見てホッとしながら、無事に訪問を終えることができました。

報告者：五十嵐 宏子（名入・小山・高清水地区担当）



防火診断訪問



去る12月24日、会津坂下消防署三島出張所、地域包括支援センターの方々と共に、地区の高齢者世帯のお宅を訪問し防火診断を行いました。

消防署の職員から日頃使用している暖房器具や台所のガスコンロ、火災警報器の取付状況などを点検していただきました。火災警報器はどのお宅も設置されていましたが、設置から10年を超えて劣化している可能性もあり、新しい機器への交換を指摘されました。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感じなくなったり、故障しやすくなります。10年を目安に交換をしましょうとのこと。皆さんのお宅でも一度チェックしてみたいでしょうか。

防火診断を通して日頃の点検や備えの大切さを再認識いたしました。春先は火災の発生しやすい時期でもあります。火の用心に心がけ、日々の住宅防火に取り組みましょう。

報告者：志田 義美（宮下地区担当）



活動紹介～意見交換会～

民生児童委員協議会では、毎月1回定例会を開催し、活動内容の確認や悩み等を話合っています。小グループ意見交換会では、委員としての活動や研修について計画を立てたり、それぞれの活動の疑問や対応策などについて意見を出し合い、新任・再任委員が支え合いながら、地域の見守り役としての役割を担っています。

◆ 編集後記 ◆

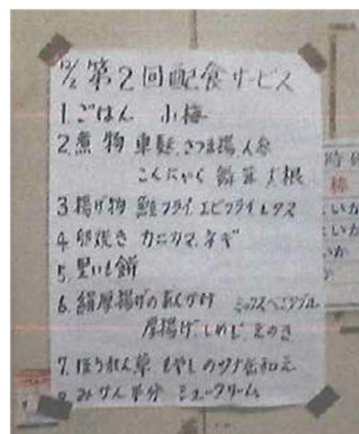
数年前には、コロナの感染に怯え、また、今年はインフルエンザB型なるものに脅威を感じながら、マスクを外すタイミングを見つけられずにいます。

去年の豪雪に比べて、今年は雪が少なく生活するには楽なようでした。3月になりますね。どこか体も軽くなる気がします。春になったら何をする？野菜や花を植えてみましようか？などなど。世界的に見ても穏やかな生活が送れているのは当たり前ではないのです。寒暖の差が激しい時期です。体調管理を怠ることなくお過ごしください。

広報委員：飯塚敦子（大石田地区担当）



発行：三島町民生児童委員協議会
（広報委員）飯塚 敦子
湯田 恭子
本名 与四郎
事務局：三島町社会福祉協議会



【実施報告、参加者の声】

会員手作りのお弁当を、安否確認を兼ねてご自宅にお届けしました。喜んで受け取ってくれた方、食後に「おいしかった」と電話をくれた方もいて、今後も続けていきたいと思いました。

川井地区 ふれあい食事会

【実施報告、参加者の声】

地区の高齢者と住民が一堂に会した食事会を通じて、ふれあいや交流を楽しみました。地区住民が大勢顔を合わせる機会は喜ばしいことだと声がありました。年々会場に出向く事ができない高齢者が増えてきているので、開催の仕方を工夫したいと思います。



ボランティア松原 新そば会

【実施報告、参加者の声】

地区に住む若男女が一堂に会し、地区内で収穫されたそばをメインとした会食を行いました。手打ちの新そばを初めとした多くの料理に大満足でした。参加できない高齢者は出前で参加することができました。



三島町赤十字奉仕団（全域） クリスマス友愛訪問



【実施報告、参加者の声】

町内在住の85歳以上の高齢者の方にクリスマスプレゼントを添えて友愛訪問を実施しました。プレゼントには、会員手作りのクリスマスリースやメッセージカード、お茶菓子を詰め合わせました。リースは細かな作業もありましたが、楽しみながら作りました。各地区担当団員がそれぞれ訪問し、近況をお尋ねしながらお声掛けしました。





大谷ボランティアすみれ会 世代間交流食事会

【実施報告・参加者の声】
地区の高齢者を招待して踊りの鑑賞や食事会、カラオケを通じて親睦を図り楽しい一日を過ごしました。
「雪が降って、家の中で過ごすしかない中、とても有難かった」と喜ばれました。高齢化や施設入所する人も増える中、何とか頑張って皆で冬を乗り越えたいと声を掛け合いました。



みんきょう便り 第45号

みんきょう・・・三島町民生児童委員協議会の略です

歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました

「歳末たすけあい募金」は、共同募金の一環として毎年12月1日から1カ月間を活動期間として、地域住民やボランティア、また関係する機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開するものです。これまでは、生活困窮世帯への歳末見舞金として使われてきましたが、現在は住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動に展開されるようになり、それらの活動への募金配分が行われるようになっています。



募金活動では、「こんにちは、民生委員です。歳末助け合い募金活動にまいりました」と各家々を回りました。12月に着任したばかりの初仕事でありましたが、「寒い中大変だな、ご苦労様」と労いの言葉をいただき、快く協力くださいました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

報告者：片山智子（松原地区担当）

早戸地区 世代間交流クリスマス会

【実施報告、参加者の声】
早戸地区は移住者が増えており地区住民とともに積極的に準備に関わり、会が活性化しています。会場に来られなかった方にも配食し、ほぼ全員が参加することができました。会食やプレゼント等で会も盛り上がり、交流の場を一同が喜んでくれるのでやりがいがあります。



宮下・荒屋敷地区 子どもと高齢者のつどい

【実施報告、参加者の声】
高清水地区の講師を招いての、伝統行事ひな流しのひな人形作りや、婦人会手作りのすいとんで会食を行いました。流しびなを見る機会も作る機会もほとんど経験したことがなく、参加者の真剣な表情が印象的でした。毎年参加者が少なくなってきましたが、参加してくれる人がいる限り続けたいと思います。



高清水・小山地区 クリスマス友愛訪問

【実施報告、参加者の声】
ワナゲ大会の開催とクリスマスプレゼント及び弁当の配布を行いました。ワナゲ大会では、練習にも多数が参加され、子どもから高齢者まで歓声のうちに終了することができました。風邪などの流行時期でもあるので会食は控えましたが、今後も、状況に応じて企画していきたいと思います。



三島町民生児童委員協議会小松会長・五十嵐副会長が各事業所を訪問し、行事助成金を贈呈いたしました。

社会福祉法人
八千代様へ
「桐寿苑」



デイサービス「西輝」管理者小池郁生様へ

それぞれ、クリスマス会のプレゼントやもちつき、正月のおせち等の年末年始のイベントで、ご利用者の皆様に楽しんでいただく機会にご活用下さっています。

地域ふれあい配分事業 三島町民生児童委員協議会 友愛訪問

【実施報告・参加者の声】
冬期間の一斉訪問の際に手持ち品としてヤクルトを持参して、ひとり暮らし高齢者宅などの要支援世帯を訪問しました。訪問時は雪も落ち着き、高齢者の皆さんも安心して生活されている様子がわかり安心しました。ヤクルトも大変喜ばれ、今後も続けたいと思います。



三島町老人クラブ連合会 活動記録

三島町老人クラブ連合会は、現在会員76名で年間を通じて健康づくりや町の事業への協力などで活躍しています。

それぞれが、自分にできる役割を担いながら、会の運営や事業を盛り上げています。

ポッチャの指導者：竹田総合病院理学療法士の佐藤志保さんと一緒に、気合の集合写真→



ワナゲは輪を離す瞬間まで、指先に全集中☆周りで見守るみなさんも、固唾をのんで真剣そのもの。



ルチをームにのボツチャは、相手ボ
抜け進めいかに阻むか戦略を立てなが
けなまにす。最後の一投まで気が
ないまにす。最後の一投まで気が
面白さがあります。

大会結果発表

ワナゲ大会（写真左）
優勝 舟木 義晴さん（間 方）
準優勝 五十嵐 作子さん（大石田）
第3位 秦 愛子さん（大石田）

ポッチャ大会（写真右）
優勝 馬場 政幸さん（大 谷）
秦 京子さん（大石田）
五十嵐 作子さん（大石田）



「雪と火のまつり」でも大活躍☆

2月21日開催の雪と火のまつりでは、会場を彩る団子さしに協力しました。膨大な量の色とりどりの団子作りを行い、会場を囲むミズノキに花を模して団子をさしました。来場していた多くの子どもたちも、両手いっぱい団子を取り、会場を盛り上げました。

ゆい♡はーと⑤



ふれあいサロンで笑って喋っていきいき健康づくり



↑初めて挑戦する手作りゲーム。思い通りにいかないボールにやきもきしながら、繰り返すうちにコツをつかみます。（間方いきいきクラブ）

優勝者にトロフィーの贈呈
（松原はつらつクラブ）



出前講座で介護予防☆

地域で元気に暮らすには、色々な知識や情報がとても大切です。出前講座では、健康づくりの秘訣やいざという時のための対応方法を学ぶことができます。



宮下病院の出前講座「救急車の呼び方・家庭でできる応急処置」に真剣に聞き入る皆さん。（ひまわりサロン：宮下・荒屋敷・桑原・中平）

ゲームで盛り上がりよう!!

サロンのレクリエーションでは、色々なニュースポーツをお届けしています。人気のものもあれば、なかなか難しいものもあり、サロンによっても好みは様々。それでも、皆さん様に、「楽しもう」「やってみよう」の心意気が素晴らしく、笑い声の絶えない時間です。帰り際に「あー、今日も笑った（笑）」と声を聞かたび、楽しい集いを続けたいと感じます。



↑やる人も見る人も、皆で場を盛り上げて笑いの絶えないとてもいい雰囲気です。（西方サロンなごみ）



↑明治安田生命さん「フレイル予防」講座。心も体もいつまでも元気でいられるように、日々の積み重ねが重要です。（浅岐あったかサロン）



↑包括と保健師で、健康なお口でおいしく食べるための健口講座を行っています！（大石田友遊サロン）

ゆい♡はーと④